

2014.03.28-2

東峰村・岩屋公園のゲンカイツツジ





星降る修験道の里
国定公園 **岩屋**
← 岩屋神社

釈迦岳・大日ヶ岳  
登山口 3.9km

山を歩くと
山が綺麗
山を歩くと
山が綺麗
山を歩くと
山が綺麗

福岡県東峰村(旧宝珠山村)の
岩屋神社の周辺は、公園として整備されている。



大目ヶ岳（だいにちがたけ）830m

釈迦ヶ岳844m

福岡県東峰村・竹地区の棚田（棚田百選）

14:52



14:56岩屋神社前に到着 自宅から103.7km



2025年10月10日
2025年10月10日

岩屋まへ

国定公園 岩屋公園案内図



福岡県朝倉郡宝珠山

岩屋神社周辺の岩屋公園は、耶馬日田英彦山国定公園内にあつて、天然記念物の奇岩群と窟群、大公孫樹や玄海ツツジなど貴重な植物が自生しています。



3-1

宝珠山 史跡ガイド

いわや てんねんきねんぶつ いわや しがんぐん

岩屋の天然記念物 岩屋の奇岩群

岩屋神社一帯は、英彦山・釈迦ヶ岳・大日ヶ岳一帯の火山活動と風化浸食によってできた

安山岩質集塊岩の林立した奇岩群と窟群が形成する山地で、植物相も周辺地域にない特殊なものがあります。

そのため、昭和25年には、耶馬日田英彦山国定公園に指定され、また、昭和35年には、

宝珠山岩屋の大岩として

権現岩・熊野岩・重ね岩・良吹岩・鳥帽子岩・見晴岩・馬の首根岩が福岡県天然記念物にも指定されました。

岩屋の奇岩群は、

神々が降臨する神聖なものとして

古くから人々の信仰の対象となってきました。



Natural Treasures in Iwaya [Rocks in Iwaya]

Around Iwaya-jinja shrine, there are lots of huge rocks and hollows formed by the volcanic activity of Mt.Hiko-san, Mt.Shaka-ga-take and Mt.Dainichi-ga-take, weathering, and erosion. That made plants distribution special compared to other areas. So in 1950, the area was designated a part of a semi-national park of Yaba-hita-hikosan. And in 1960, most rocks in Iwaya were designated natural treasures as huge rocks in Iwaya, Houshuyama by Fukuoka prefecture. The rocks and hollows have been objects of worship where the Deities come down from the heaven.

3-2

宝珠山 史跡ガイド

いわや てんねんきねんぶつげんかい

岩屋の天然記念物 玄海ツツジ

昭和36年に福岡県天然記念物に指定された岩屋の玄海ツツジは、朝鮮半島の金剛山、対馬とこの岩屋一帯にしかない珍しいものです。シヤクナゲ科に属し、樹高1〜2メートル程度の小灌木です。彼岸ツツジとも呼ばれ、不思議なことに、

必ず、彼岸の中日には、薄桃色の花が咲くと言われています。

普通のツツジと違い花が咲き終わった後に葉が出てきます。

玄海ツツジは、村花にも指定されています。



Natural Treasures in Iwaya [Genkai Azalea]

Genkai-tsutsumi azalea, designated a natural treasure by Fukuoka prefecture in 1961, is rare and distributed only in Tsushima and around Iwaya in Japan. Strange to say, this Genkai azalea surely blooms pale pink flowers at the spring equinox, the middle day of Higan when people customary go to the ancestors' tomb and the temple to worship as a folk belief. The leaves are grow after the flowers have fallen and it is the other way around with other ordinary types of azalea. Genkai azalea is designated the village flower.



セイヨウシャクナゲ（西洋石楠花） ツツジ科 常緑低木



フデコブシ (幣辛夷、四手拳)
モクレン科 落葉小高木 日本固有種



シデヨブシ (幣辛夷、四手拳)
モクレン科 落葉小高木 日本固有種



カンボケ（寒木瓜） バラ科 落葉低木



ゲンカイツツジ（玄海躑躅）ツツジ科
別名：ヒガンツツジ（彼岸躑躅）

3-3

宝珠山村史跡ガイド

いわや

てんねんきねんぶつ おお

くまがい

岩屋の天然記念物 大ツバキ”熊谷”

昭和51年に福岡県天然記念物に指定された岩屋の大ツバキは、高さ約18メートル、幹周り約1.8メートルの大ツバキです。ツバキは成長が遅く、

これだけの大きなものは珍しく、天然記念物となりました。

真紅橙色の花弁と濃黄橙色の花芯をもつ大輪の花が、毎年3月初旬から4月下旬にかけて咲き誇ります。

足の踏み場がないように二面に落ちた花は、必ず花芯を上にして落ち、

地上で再び咲いたようになるといわれる不思議な大ツバキです。



現在地



近くの見どころ

- ②竹地区の榎田
- ④日田山崎新道トンネルと新道

Natural Treasures in Iwaya [Camellia]

Oo-tsubaki, a big camellia, is 18m high and 1.8m in girth. Such a big camellia is rare for a tree that grows so slow. So it was designated a natural treasure by Fukuoka prefecture in 1976. This rare camellia fully blooms large flowers from early March to late April with deep red petals and a deep orange sepal. The fallen flowers always turn upward, become like a flower carpet, and look like they flower on the ground once again. This is such a wonderful camellia.

岩屋のトウツバキ



3-3





3-4

宝珠山村史跡ガイド

いわや てんねんきねんぶつ おお

岩屋の天然記念物 大イチョウ

昭和35年に福岡県天然記念物に指定された大公孫樹は、

岩屋神社のご神木の一つで、樹齢六〇〇年とも七〇〇年ともいわれる

高さ約36メートル・幹周り約6メートルのイチョウの巨木です。

六〇一年頃・大宝年間たいほうねんに修験道の開祖の役行者小角せうかくが岩屋で修行して帰る時、

刺した杖が芽生えてこの大公孫樹となったとの伝説があります。

よく見上げてみてください。

江戸時代には、七色木として、カエデ・マキ・ネズミモチなど七種の異なる植物が

この一本のイチョウから生えていると記録されています。

この大公孫樹は、戦国時代末の豊後の大友宗麟おほともむねりんによる

二度の宝珠山焼き討ちにも耐え、

岩屋神社の盛衰と人々の祈りを見つめてきました。

大正時代の宝珠山

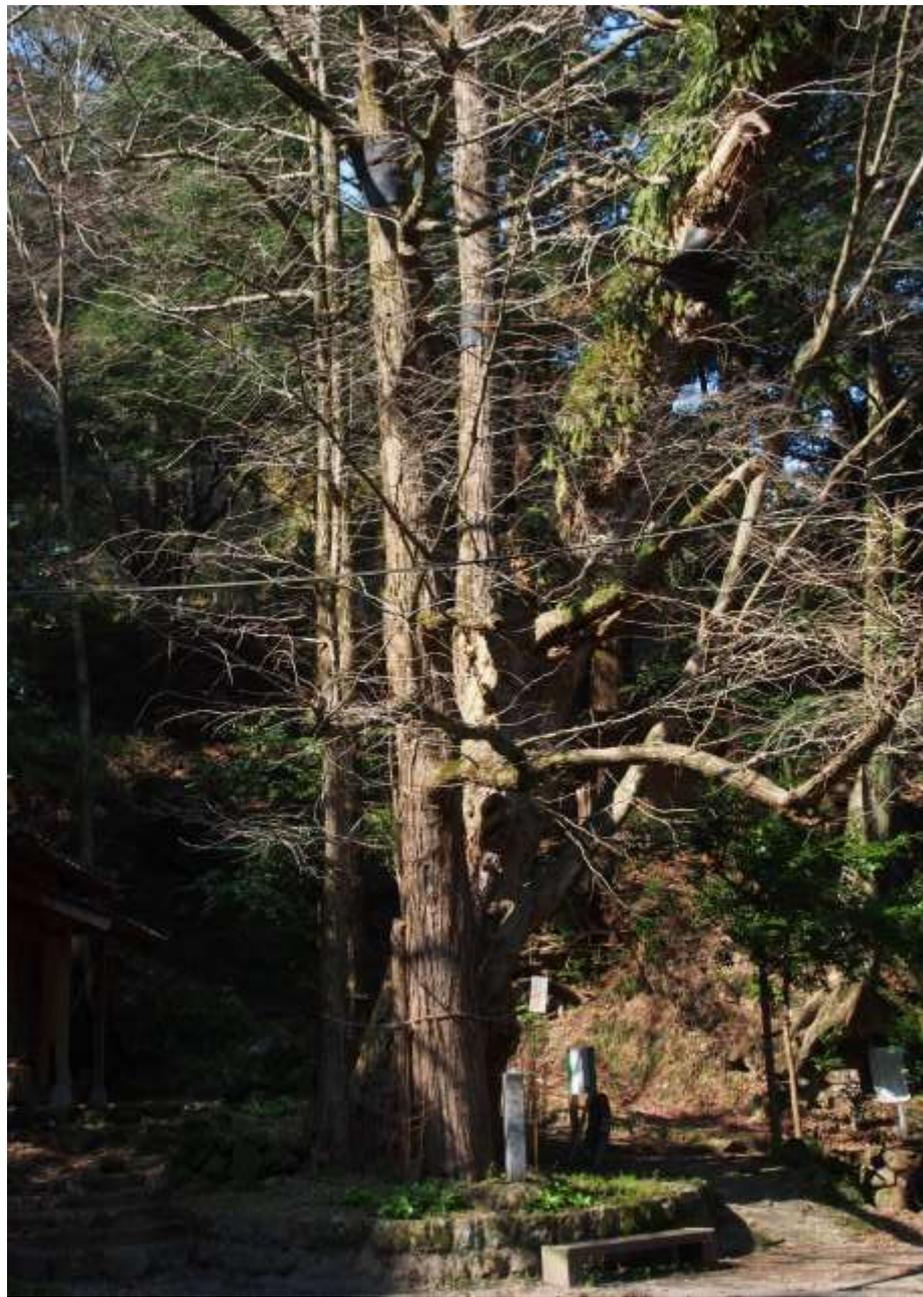
現在地



近くの見どころ
 ②竹地区の榎田
 ④日田彦山線駅通函トンネルと軌道品濃水

Natural Treasures in Iwaya [Huge Ginkgo Tree]

Oo-ichou, a huge ginkgo tree, designated a natural treasure by Fukuoka prefecture in 1960, is one of the sacred trees of Iwaya-jinja shrine. And it is said that it is 600 or 700 years old, 36m high and 6m in girth. A legend says that En-no-gyouja Ozunu, a founder of Shugen-dou religion stuck his stick here after his asceticism at the shrine and then it budded and became this tree. Look up at it carefully. More than 7 different plants, such as maple, podocarp live on with this holy tree. This holy ginkgo, which endured the attack and fire in the late Sengoku period, 16th century, has been watching the rise and fall of the shrine and people's prayers.





【岩屋まつり】

.....

岩屋神社で古くから受け継がれている伝統的なお祭りです。村の若衆がかつぐ勇壮な“あばれ御輿”に驚嘆したり、神楽や山伏による荘厳な護摩供養に感動したりできるひと時です。



【ゲンカイツツジ】

.....

彼岸ツツジとも別名で呼ばれるように春の彼岸の頃、険しい岩屋の山あいには可憐な花を咲かせます。



3.5

宝珠山村史跡ガイド

い わ や く び な し ぞ う せん たい じ ぞ う こ ひ や く ら か ん

岩屋の首無し地蔵(千体地蔵・五百羅漢)

多神教国の日本では、奈良時代以来、異なる宗教、

インド起源の仏教と日本古来の神道とが一つに混ざり合う神仏習合が行われ、

日本の神は、本来は、仏教の仏が化身したものだと考えられていました。

聖なる神仏が出現する非日常世界だと意識されていた宝珠山岩屋には、

多くの仏像が各所に安置されていました。しかし、明治維新後、新政府は、

西欧列強諸国に対抗するため、日本再生の精神的支柱として日本古来の神道を選び、

神仏分離令・修験道禁止令を出しました。

仏教色を一掃する廃仏毀釈運動は、この岩屋でも吹き荒れ、仏像群などが、

破壊され谷底に投げ捨てられたりしました。

その後、五百羅漢、五輪塔・宝篋印塔などが、村民によって、

川からわずかに拾い出され安置されました。

しかし、拾い出さされた153体の石像のほとんどには、首はありませんでした。



近くの見どころ

- ②竹地区の榎田
- ④宝珠山神社境内 トンネルと新遊岳湧水

Kubi-nashi-Jizou (Headless Jizou) or Gohyaku-Rakan(500 Arhans)

Japanese polytheism has been carrying out syncretism of Shintoism, Buddhism and other religions since 8th century A.D., Nara period. The Japanese Shinto deities had been regarded as the incarnations of Buddhas. In Iwaya, a non-daily place where holy deities and Buddhas appear, a lot of Buddhist images were put. But around the Meiji restoration, to get competitiveness against the great powers of Europe and U.S. in order to avoid to be colonized, the Meiji new government chose Shintoism from old times as an ideology for unity of Japan, proclaimed separation of syncretism of religions and prohibited the typical syncretism, Shugen-dou. So a popular movement of destruction of something Buddhist occurred in all over Japan and in Iwaya a lot of Buddhist images were destroyed and thrown away to the river. After a while people in Houshuyama picked up the poor images from the river but the most of the images didn't had their head.



3.6

宝珠山村史跡ガイド

い わ や う ま こう ね い わ どう も ん

岩屋の馬の首根岩と洞門

この洞門は、よく見るとタガネの跡が残っています。

江戸時代末天保年間（八二〇〜一八四三年）に岩屋社の別当坊で、

岩屋神社の縁起を書き残したりした岩屋坊良辨が、自ら彫ったものです。

この岩は、大きな一枚岩で、右の方まで続いています。

馬の首根岩と呼ばれています。

福岡県指定天然記念物の岩屋の奇岩群の一つです。

岩屋神社本殿下から、この岩の上を歩くことができます。

先端部から振り向くと、権現岩と本殿との荘厳な姿が見えます。

また、岩の下、千体地藏が置かれている場所には、

よく見ると、石垣と石段があり、門状になっています。

かつては、ここに堂社があったことが伺えます。

現在地

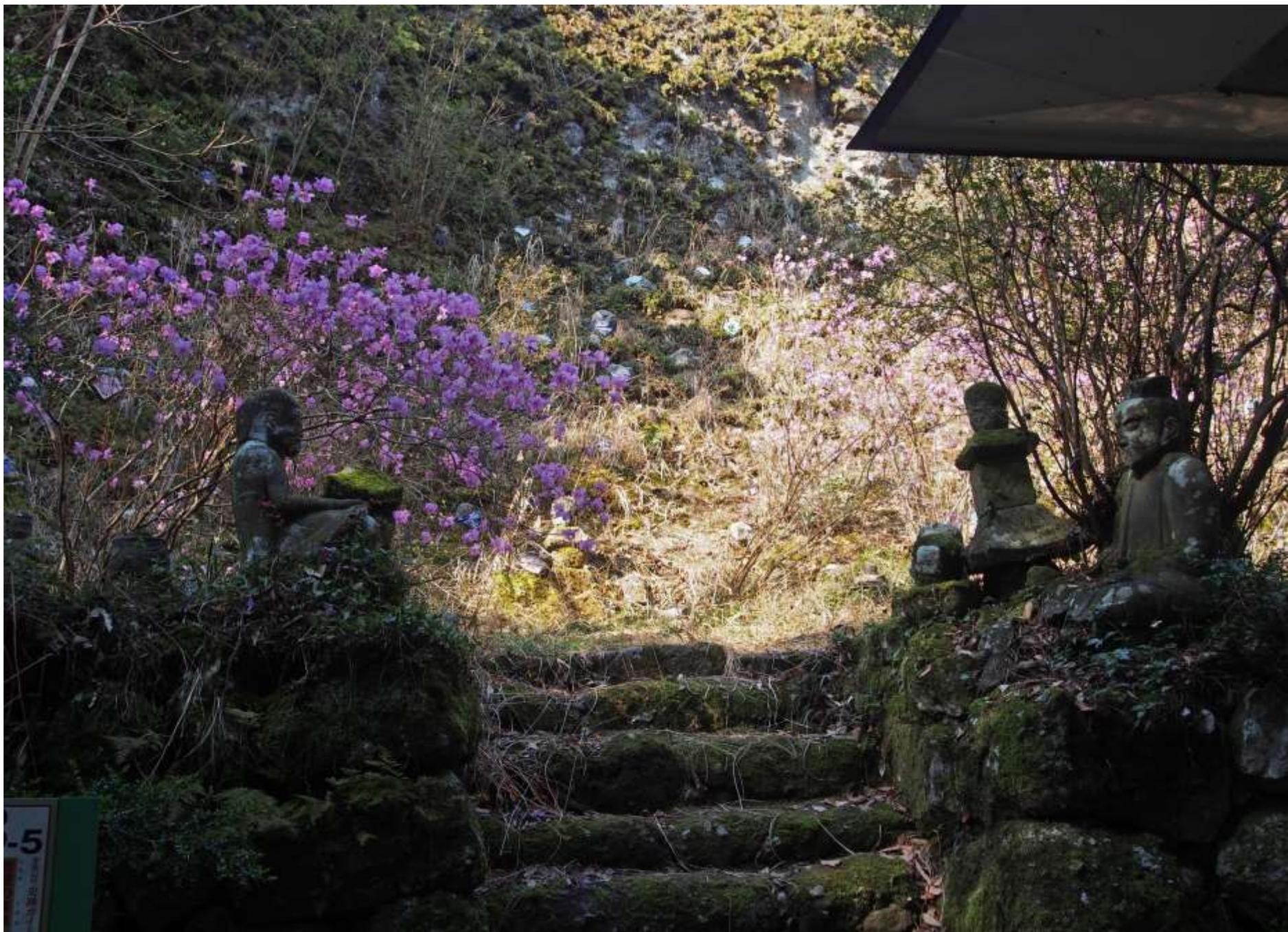


Uma-no-koune-iwa (Rock of Horse Neck) and Artificial Tunnel in Iwaya

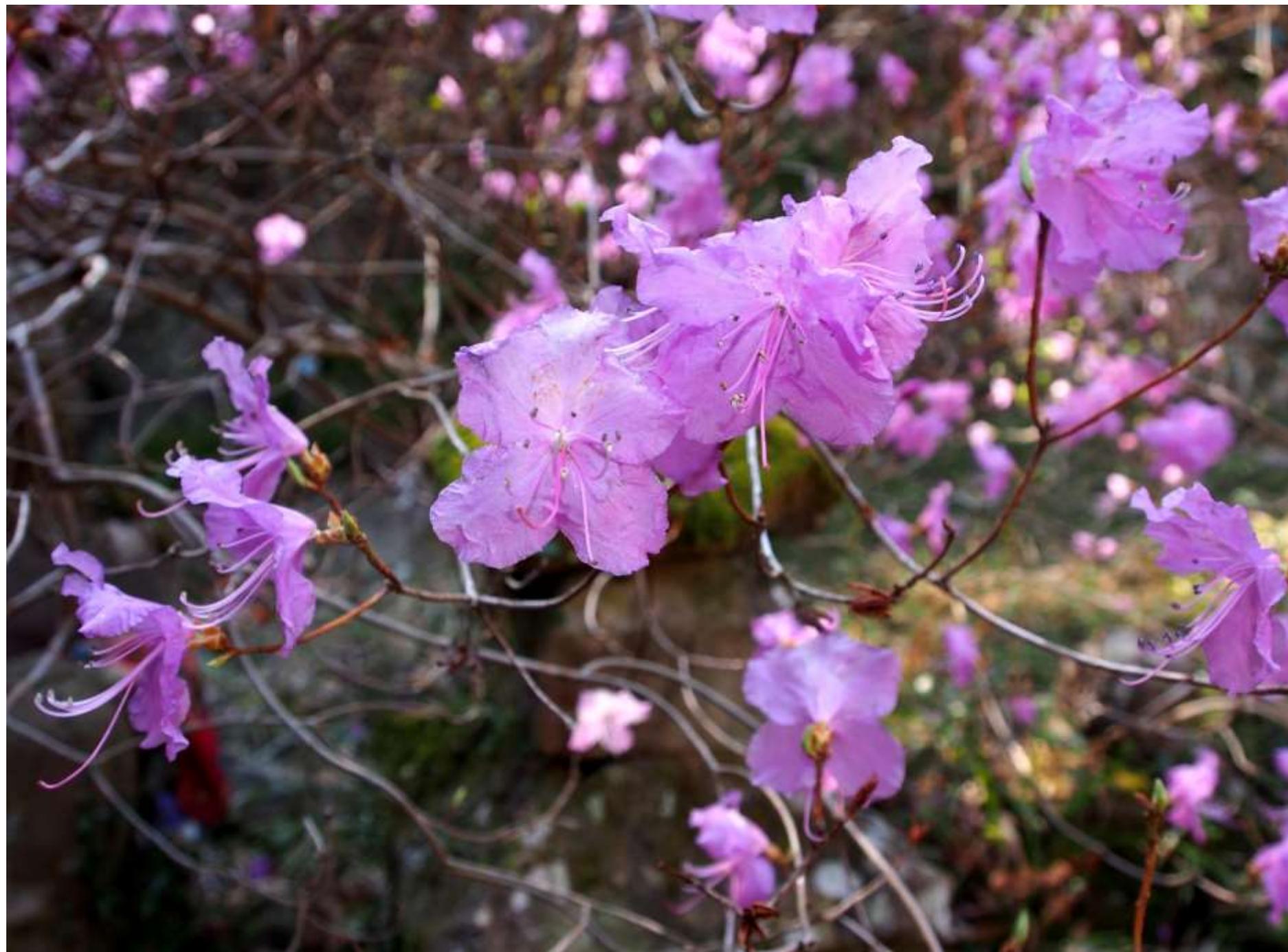
This tunnel, where markings of graver can be seen, was made by Iwaya-bou Ryouben, who wrote a history of the shrine and worked as a steward of Iwaya-jinja shrine in the Tempeu era (1830 ~ 1843) in the ending of Edo period. This rock called Uma-no-koune-iwa (rock of horse neck) is huge and stretches to right side. And this is one of huge rocks in Iwaya designated natural treasures by Fukuoka prefecture. You can walk on the rock from below the main shrine. From the tip of the rock you can enjoy the fine view, such as terraced rice paddies in Take area. And below the rock, where lots of stone Buddhist images are put, there are stone walls and stairs. They look like a gate and show there must have been a building of a temple or shrine here.













私たちの村の象徴植物

げんかいつつじ

「げんかいつつじ」は彼岸つつじともいわれ春の彼岸頃に淡紫色の小さな花がひらきます
樹高1～2mの灌木で岩屋公園内の岩に多く自生しています
私たちの村のシンボルとしてみんなで大切に保護しましょう。

昭和48年6月

福岡県・宝珠山村



ゲンカイツツジ（玄海躑躅）ツツジ科
別名：ヒガンツツジ（彼岸躑躅）



ナガバタチツボスミレ (長葉立坪堇) スミレ科



岩屋神社

岩屋神社

岩屋神社

岩屋神社

岩屋神社

岩屋神社



ゲンカイツツジ（玄海躑躅）ツツジ科
別名：ヒガンツツジ（彼岸躑躅）







サクラが植えられていた。

1分間燃費

3:55
PM

40
30
20
10



← = 30 km/l

0 km/l

15
TRIP **B**

10
104.7 km

5
燃費 19.6 km/l

0分前

平均 39 km/h



R
N
D

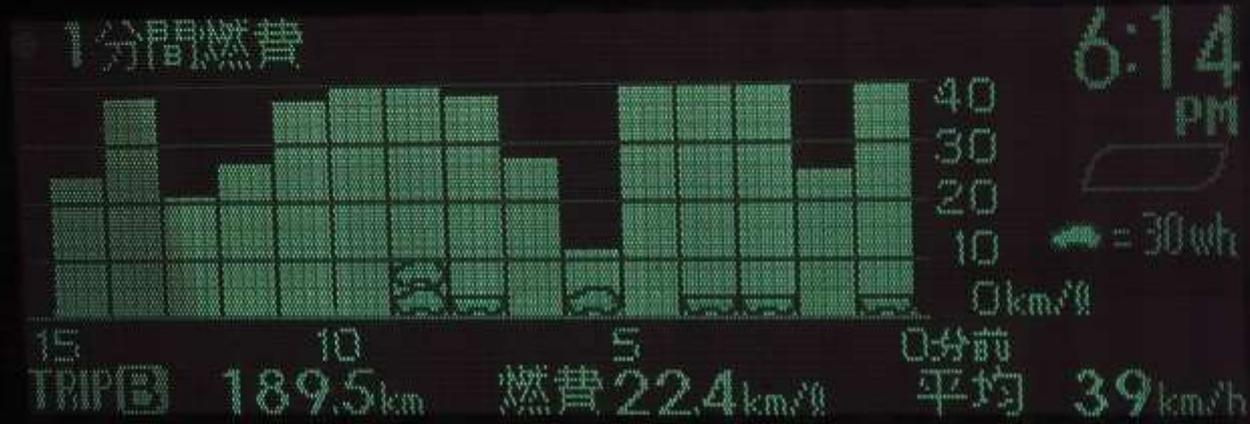


15:55 岩屋公園を出発



16:02

JR 目黒英彦山線の橋梁 東峰村のめがね橋



18:14福岡市の自宅に到着 189.5km走行